

# くすのき



令和3年度  
千葉市立山王中学校  
学校だより3号  
令和3年7月9日(金)

## 命を守るために

細川 義文

この原稿を作成しているときも、学年生徒会による「5分前入室、2分前着席」の声が聞こえてきます。継続して行っているこの呼びかけですが、学年のため、みんなのためという思いが伝わってきます。いつもすばらしいなあと感じています。

さて、6月28日に八街市で児童5人がトラックにはねられ死傷した事故がありました。大変痛ましい事故ですので、保護者の皆様に非常に大きな衝撃を与えたことと思います。あまりにも理不尽に命を奪われた児童とその保護者の方のことを考えると非常に心が痛み、言葉もありません。保護者の方の中には、もし我が子が同様の事故に巻き込まれたら、とお考えになった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

テレビ報道等で事故現場が映されているのを見て感じたのですが、山王中学校区の通学路も事故現場と同様に、非常に危険なところが多いと思いました。信号のない交差点、見通しの悪い交差点、道幅が狭く歩道のない道路、ガードレールが設置されていない道路など、危険なところがたくさんあります。通勤時間帯になると抜け道として利用する多くの車が通学路を通っていきます。中には横断歩道で生徒たちが待っていても止まる気配すらない車もあり、いつ事故が起きてもおかしくない状況です。

学校では6月29日の帰りの会で、交通事故から自分の命を守るということについて担任から話してもらいました。年度初めにお配りした保護者会資料の中でも、登下校時の注意点についてお知らせしたところですが、登下校時にはできるだけ通学路に職員が行き、見守り活動を行っております。

しかし、残念ながら「生徒たちが道幅いっぱい広がって歩いていて危険だ。いったいどういう教育をしているのだ。」というお叱りの電話をいただくことがあります。生徒たちが危険な状態で登下校をしているという実態もあります。生徒たちの命を守るために何とか改善したいところです。これからも学校では折に触れ、交通事故等から自分の命を守るということについて話をしていきます。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭でお子様と登下校について「命を守る」という観点で十分にお話ししていただければと思います。また、通勤等で登下校時間帯に通学路を通る際には、子どもたちの見守りをよろしく願いいたします。